

年 組 名前 :

問1

雪から電力を生み出す研究は、何と何の差を利用するのですか。

.....
.....

問2

昨年度、青森市の除排雪費用は、いくら掛かりましたか。

.....

問3

「積雪発電」の今後の課題を、2つ答えてください。

.....
.....
.....

廃校になった小学校のプールで作業する「フォルテ」の社員ら
|| 青森市 (16日)



捨てる雪ためて発電

青森市と企業、電通大 研究

青森市のIT企業「フォルテ」と電気通信大(東京)、青森市が連携し、捨てる雪をプールにためて電力を生み出す研究に着手した。環境負荷が少ない再生可能エネルギーとして実用化したい考えで、電力不足を補う効果が期待される。

「積雪発電」は雪の冷たさと外気の暖かさの差を利用。雪で冷やされた液体が外気の熱により気化する際のエネルギーなどで、タービンを回して発電する。環境に優しい上、低コストで安全だとして注目されている。

豪雪地帯の青森市では大量の雪を除雪車やトラックで集め、海などに捨てていた。昨年度は大雪に見舞われた影響で、除排雪費用は過去最大の約59億円に上った。市は「邪魔者として扱われた雪を有効活用できる」(担当者)と期待する。

12月16日にはフォルテの社員約10人が、廃校になった青森市の小学校で、雪の積もったプールに断熱材を入れた。雪の保存方法や発電量の見込みなどを調べ、春からは実際に発電する予定だ。

フォルテによると、大量発電には雪をためる大規模施設が必要になることや、厳寒期の熱の確保などが課題だという。大きな温度差を得るために温泉の熱を利用することも検討する。葛西純社長は「雪国ならではの再生可能エネルギーだ」と語った。

(2022年12月25日付 山梨日日新聞19面)

問4

あなたの知っている、再生可能エネルギーの種類を書いてください。

.....
.....